

## 診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院腎センター外科及び虎の門病院分院腎センター外科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この案内をお読みになり、ご自身あるいはご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「ご自身あるいはご家族の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

### 【対象となる方】

調査対象となる期間：2008年2月1日～2021年9月30日の間に、染色体優性多発性嚢胞腎(ADPKD)のために虎の門病院及び虎の門病院分院の腎センター外科に入院・通院し、腎移植術を受けられた方

### 【研究課題名】

常染色体優性多発性嚢胞腎(ADPKD)患者に対する腎移植、また術前の腎動脈塞栓術(TAE)による腎体積の変化に関する後ろ向き研究

### 【研究の目的・背景】

常染色体優性多発性嚢胞腎(ADPKD)は進行すると末期腎不全となり時に透析や腎移植などが必要になります。ADPKDに対して腎移植をおこなう場合、腎臓が大きくなることで起きる症状をやわらげるために、術前に腎臓を摘出することの他に、腎臓を栄養する動脈を詰める手術(TAE)をすることがあります。ただし、実際に処置自体が有効であるかを、数値的に検討した研究はほぼありません。

ADPKD患者は腎臓の増大に伴って様々な症状に悩まされます。今回の研究により、治療法の適切な選択に関して非常に有用な情報が得られる可能性があり、今回上記の研究を実施することと致しました。

### 【研究のために診療情報を解析研究する期間】

2020年3月31日～2022年12月31日

### 【単独／共同研究の別】

虎の門病院(主たる研究施設)、虎の門病院分院(共同研究施設)

### 【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌

等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は 虎の門病院 腎センター外科 石井保夫 のもと研究終了後 5 年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

#### 【利用する診療情報】

診療情報：

診療記録、手術記録、CT 画像、血液検査

#### 【研究代表者】

虎の門病院 ・ 医学教育部 ・ 赤埴未宝

#### 【虎の門病院における研究責任者】

虎の門病院 ・ 腎センター外科 ・ 石井保夫

#### 【利用する者の範囲】

虎の門病院 ・ 腎センター外科 ・ 中村有紀

虎の門病院 ・ 腎センター外科 ・ 横山卓剛

虎の門病院 ・ 腎センター外科 ・ 三木克幸

虎の門病院 ・ 医学教育部 ・ 赤埴未宝

#### 【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

#### 【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身あるいはご家族の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身あるいはご家族の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2022年6月30日までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様の不利益が生じることはありません。

#### 【相談窓口】

虎の門病院 腎センター外科 ・ 石井保夫

電話 03-3588-1111(代表)

虎の門病院分院 腎センター外科 ・ 石井保夫

電話 044-877-5111(代表)